

RC9 (WILD社製)



RC9 (WILD社製)

第11次から第24次南極地域観測隊で使用された超広角航空カメラです。画角が大きくなると1枚の写真に写る範囲もより広くなるため、低高度で広い範囲が撮影できます。南極地域(昭和基地周辺)の1/25000地形図や1/50000地形図等の地形図作成に利用しました。



カメラ諸元

機体番号	80-5388
製造メーカー	21 × 2300
画角(水平)	約100°
口径(フタ)	5.8-11
シャッター速度	1/2500-1/1000
フィルム種類・長さ	241.38mm / 79mm巻
重量	79kg
寸法(高さ)	380mm
製造番号	676

購入日 1983(54)年9月18日
使用年 1983(54)年10月-
1984(55)年10月
その他 南極観測隊で使用

地区:リッツォーホルムコース:04 写真番号:13
撮影日:1983/4/2 (0858) ラングホフ付近



手を
ふれないで
ください

RC9 (WILD 社製)

第11次から第24次南極地域観測隊で使用された超広角航空カメラです。

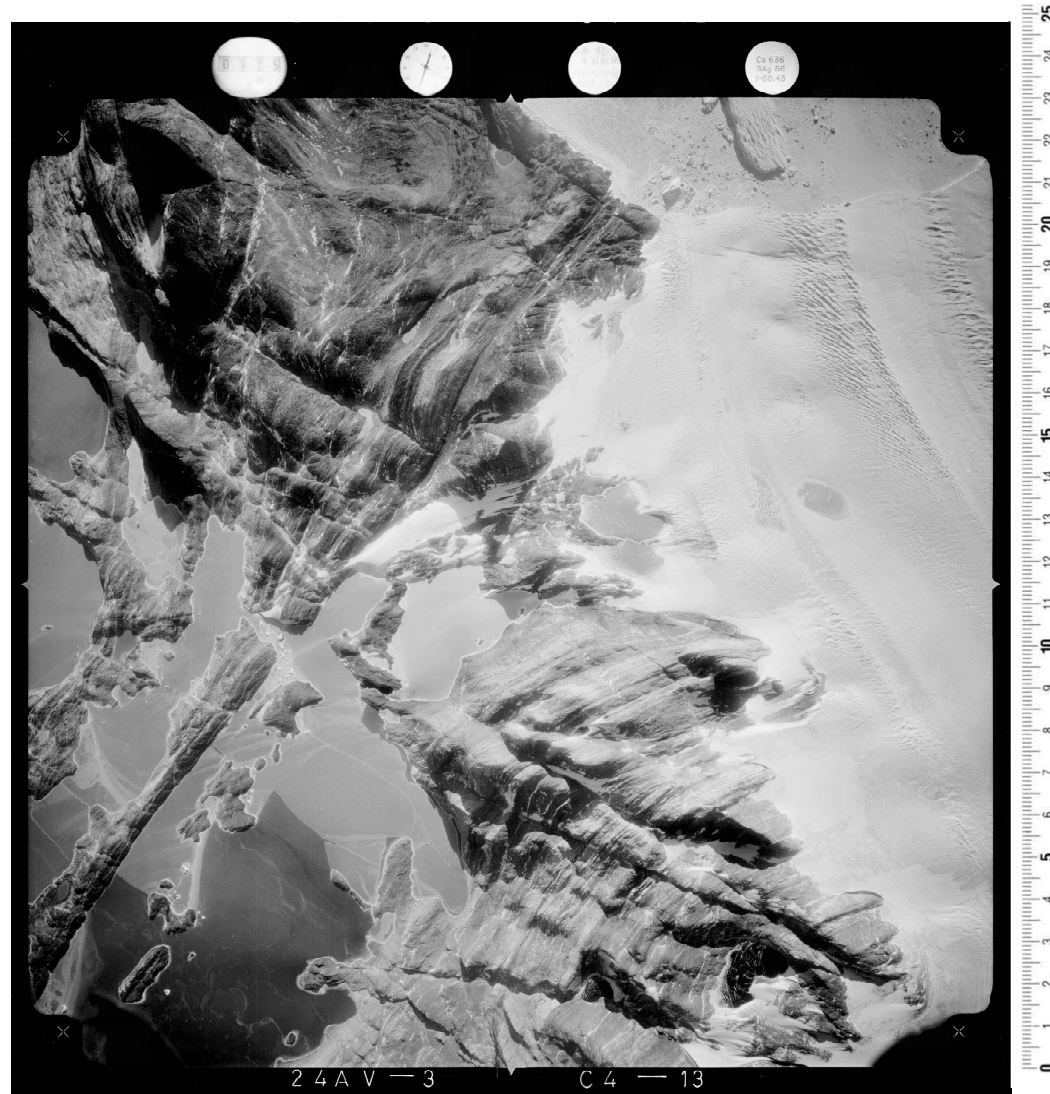
画角が大きくなると1枚の写真に写る範囲もより広くなるため、低高度で広い範囲が撮影できます。

南極地域(昭和基地周辺)の1/25000地形図や1/50000地形図等の地形図作成に利用しました。

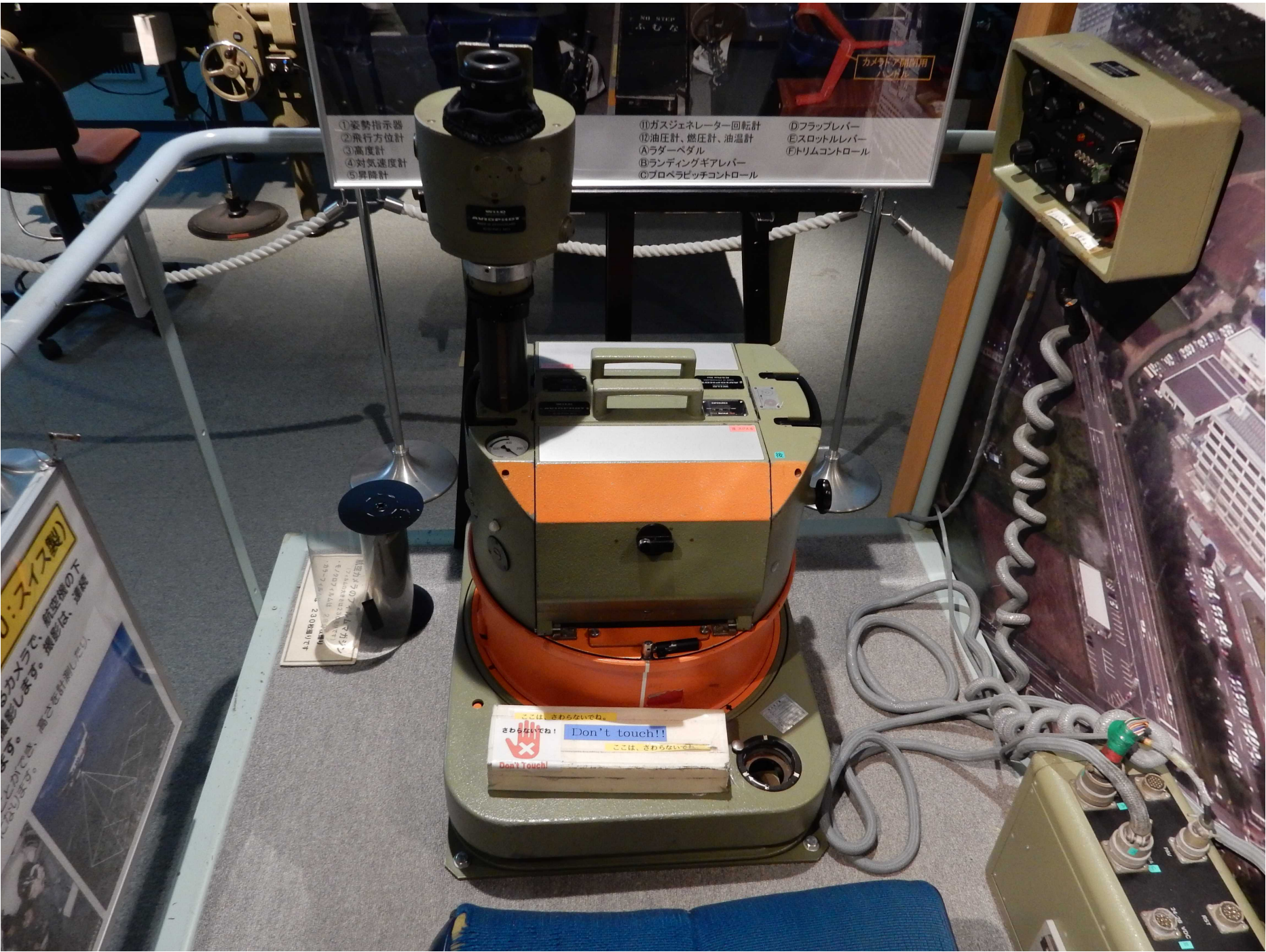
カメラ諸元

焦点距離	88.43mm
画面サイズ	23×23cm
画角(水平)	約 105°
口径比(F値)	5.6~11
シャッター速度	1/200~1/300
フィルム幅、長さ	241.3mm、76m等
重量	78kg
レンズ名	SAG
製造番号	636

購入日	1969(S44)年9月16日
使用年	1969(S44)年9月~ 1984(S59)年4月
その他	南極観測隊で使用



地区:リュツォ・ホルム湾 コース: C4 写真番号: 13
撮影日:1983/4/2(昭58) ラングホブデ付近



RC10 (WILD 社製)

くにかぜⅡの就航(1983年)時に搭載されたカメラです。

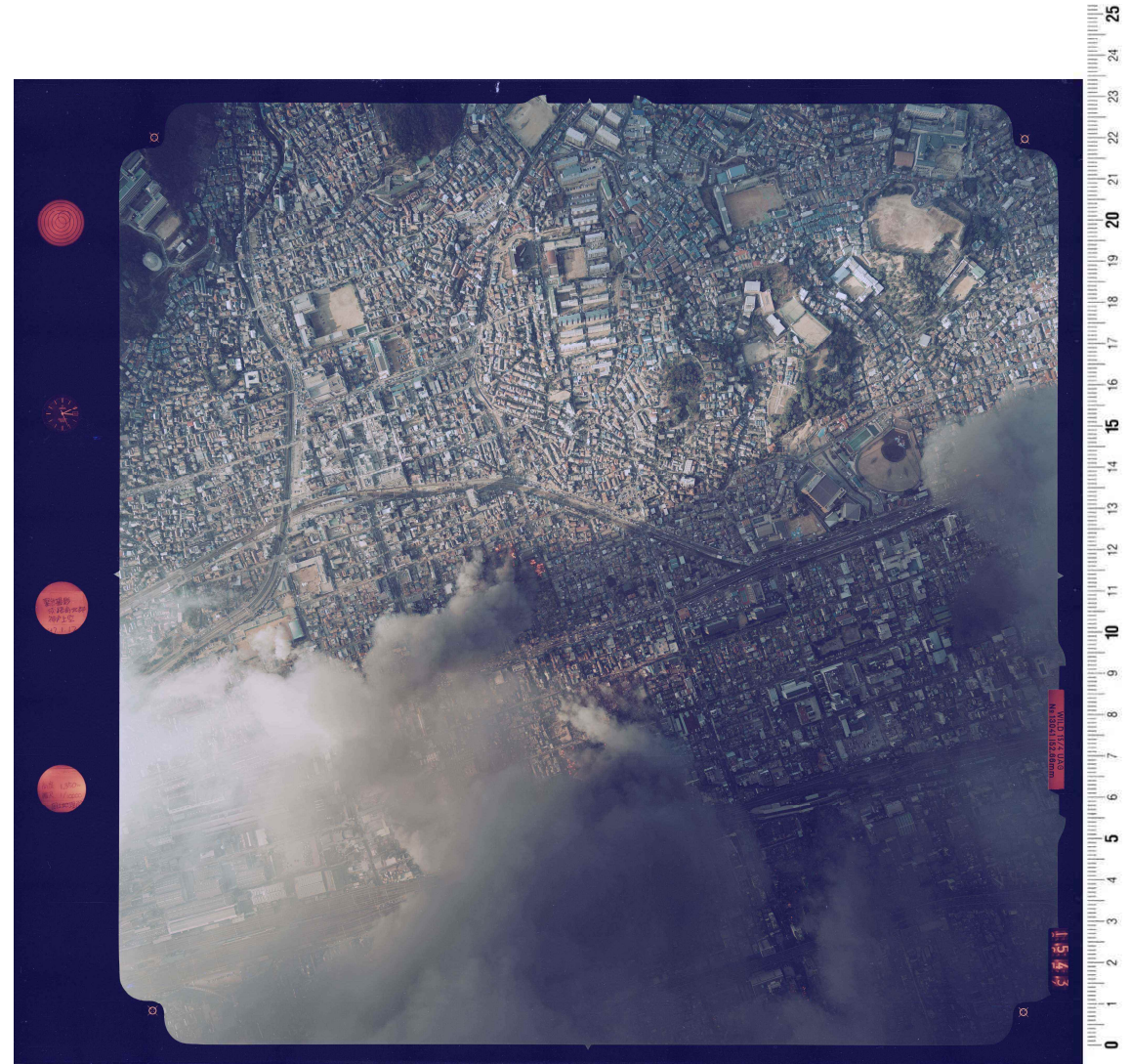
市販の一眼レフカメラと同様に多種の焦点距離のレンズコーンを搭載できます。眼下を覗くためのファインダーは、広い範囲を確認することができ、航空機の撮影コースへの誘導も容易になりました。

取り外しが可能なフィルムカセットがフィルム装填側と巻取り側に分かれているため、装填側のフィルムがなくなった際、巻取り側に移すことができ、多くの航空用フィルムを搭載することができました。

カメラ諸元

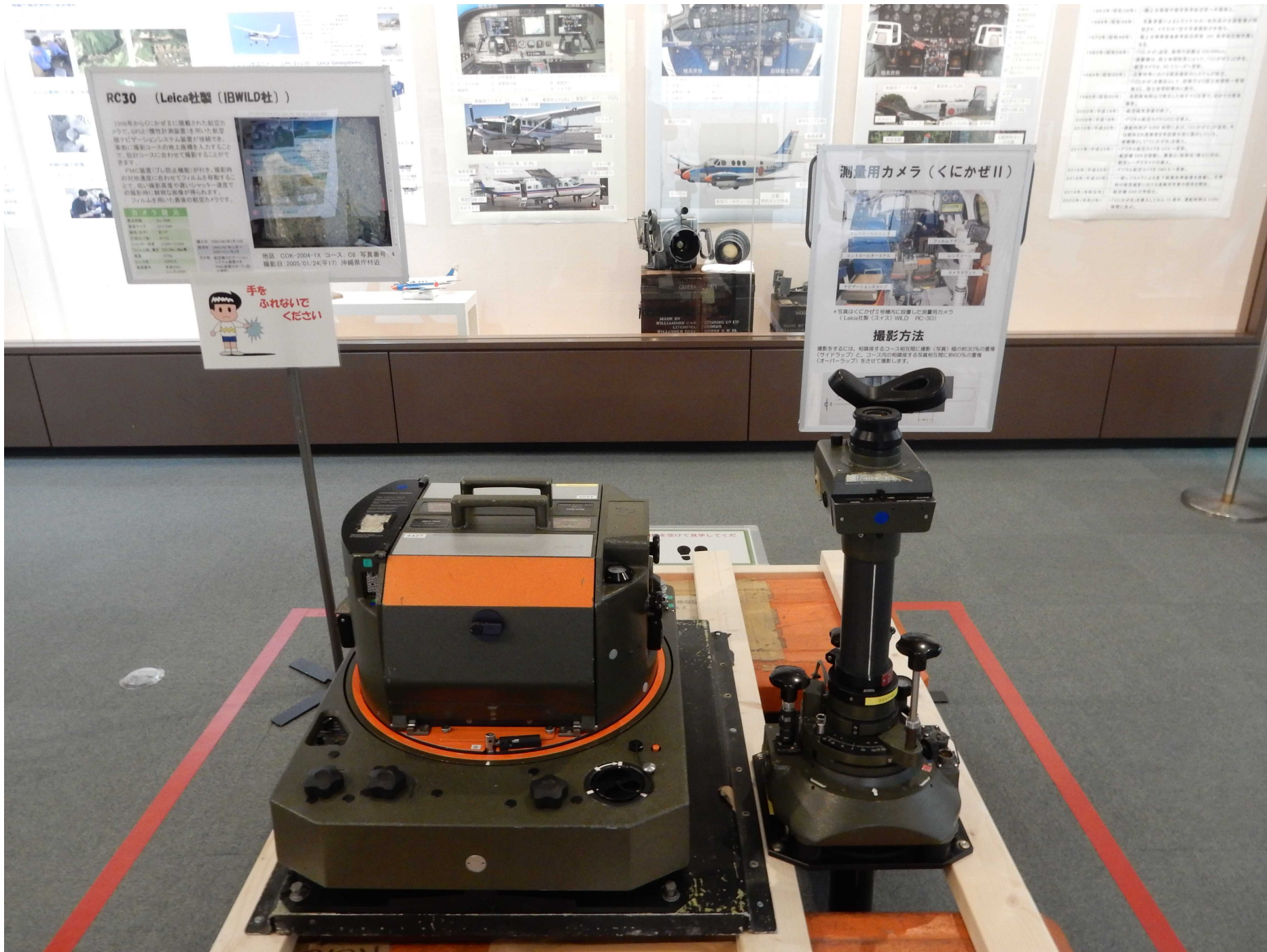
焦点距離	152.66mm
画面サイズ	23×23cm
画角(水平)	約74°
口径比(F値)	4～22
シャッター速度	1/100～1/1000
フィルム幅、長さ	241.3mm、76m等
重量	142kg
レンズ名	UAG
製造番号	本体3535、 レンズ13041

購入日	1981(S56)年3月25日
使用年	1981(S56)年8月～ 1996(H8)年5月
その他	レンズは交換可能



地区: CKK-94-2 コース: C3 写真番号: 1543
撮影日: 1995/01/17(平7) 神戸市長田区付近
(兵庫県南部地震発生日)

RC30 (Leica社製 [旧WILD社])



RC30 (Leica社製〔IBWILD社〕)

1996年からくにかぜⅡに搭載された航空カメラで、GPSと(慣性計測装置)を用いた航空機ナビゲーションシステム装置が接続でき、事前に撮影コースの地上座標を入力することで、設計コースに合わせて撮影することができます。

FMC装置(ブレ防止機能)が付き、撮影時の対地速度に合わせてフィルムを移動することで、低い撮影高度や遅いシャッター速度での撮影時に鮮明な画像が得られます。

フィルムを用いた最後の航空カメラです。

カメラ諸元

焦点距離	152.76mm
画面サイズ	23×23cm
画角(水平)	約74°
口径比(F値)	4～22
シャッター速度	1/100～1/1000
フィルム幅、長さ	241.3mm、76m等
重量	151kg
レンズ名	UAG-S
製造番号	本体5263、 レンズ13309

購入日	1996(H8)年2月13日
使用年	1996(H8)年11月～ 2009(H21)年3月
その他	航空機ナビゲーション システム装置付き FMC装置付き(ブレ防 止機能)



地区: COK-2004-1X コース: C8 写真番号: 4
撮影日: 2005/01/24(平17) 沖縄県庁付近

F24 (Williamson 社製)



(Williamson 社製)

地域観測隊夏隊(1959)の偵察用として使用され、自撮り撮影用として、カメラを固定する菜台もありますが、手持ちカメラとしても利用できるようになっています。

カメラ諸元	
型式	12345
口径	35mm
長さ	100mm
重量	1.2kg
製造年	1957



地区・リュツォ・ホルム湾東南岸
写真番号: 3
撮影日: 1957/2/1 (昭32)
南極昭和基地付近の海水上より、船は砕氷船宗谷。



地区・リュツォ・ホルム湾東南岸
写真番号: 96
撮影日: 1957/2/1 (昭32)
南極昭和基地付近の海水上より、向岩からオングル諸島。(右奥の島に昭和基地ができた。)

F24 (Williamson 社製)

第1次南極地域観測隊夏隊(1956～1957年)で偵察用として使用されました。

直下写真撮影用として、カメラを固定する架台もありますが、手持ちカメラとしても利用できるようになっています。

カメラ諸元

焦点距離	125mm	200mm 等
画面サイズ	12.4 X 12.5cm	
画角(水平)	約 90°	約60°
口径比(F値)	4～11	2.9～11
シャッター速度	1/100～1/1000	
フィルム幅	14cm	
レンズ番号	170766	245972
本体番号	5167	

購入日	—
使用年	1956(S31)年～1957(S32)年 第1次南極地域観測隊
その他	南極地域の偵察に使用



地区:リュツォ・ホルム湾東南岸
写真番号: 3
撮影日:1957/2/1(昭32)

南極昭和基地付近の海氷上より。
船は砕氷船宗谷。

地区:リュツォ・ホルム湾東南岸
写真番号: 96
撮影日:1957/2/1(昭32)

南極昭和基地付近の海氷上より。
向岩からオングル諸島。(右奥の島に昭和基地ができた。)

